



## 社労士のつばやき(89) 再びテレワークを考える

毎日のように新聞で報じられる自動車事故。特にトラックの事故が後を絶ちません。9月5日には山陽自動車道の尼子山トンネルで走行中の大型トラック火災を起こし、大規模な災害が発生しました。後続の33台も火災に巻き込まれ、幸い死者は出なかったものの、8名が救急車で運ばれています。ドライバーの健康と生命日々脅かされているのです。事故が起こるたびに運送会社の社長らはマスコミなどの集中攻撃を受けており、気苦労も絶えません。そんな中、トラック運転者の労働時間の改正が来年4月より始まります。

### ○強化される規制

今回の改正で最も強化されるのは、残業規制です。一般の労働者は、残業について月45時間、年360時間の上限が定められ、特別に協定を結べば年720時間までとされていますが、トラック運転者も年960時間（将来的には720時間）に規制されます。拘束時間の規制も強化されます。現在の1日13時間（最大16時間）から1日13時間（最大15時間）へ、1か月では293時間から284時間へ、1年では3,516時間から3,300時間になります。ただし故障や事故、荒天などの場合は例外となります（客観的記録が必要）。勤務間インターバルも8時間から9時間以上（11時間が努力義務、分割可）となり、他にも休息や連続運転時間の規制が強化されます。

とりわけ残業に上限が定められた影響は大きく、ある専門家は「今では高速道路を利用するのが当たり前になった」と話していました。9月4日付の神戸新聞も、大型トラックの乗船待ちで混雑するフェリーの活況ぶりを伝えています。乗船中は休憩時間扱いのため、残業にはならないのです。専門家は、荷主の厳しい要求を拒否したり、予約制を取り入れてドライバーの待機時間を減らすなどの工夫が運送会社に求められている、と指摘していました。

### ○ドライバーの疲れを取るために

トラック運転者の残業が規制され、拘束時間が短くなっても、警察庁は高速道路でのスピード規制を緩和する方向性を示しています。本末転倒だ、いや実際はもっと早く走っているし現に事故は減っていると議論されていますが、世間一般としては「危ない」という感覚でしょうね。大型トラックと並走したくないのは誰しも同じです。

何よりもトラックの運転は、長時間労働もさることながら深夜に及ぶことが多く、生活が昼夜逆転してしまうことが多いのです。今回の規制の影響は未知数ですが、ドライバーが心身とも十分に疲れを取れるようにしなければならないのは、言うまでもありません

社労士事務所アジュール 高 龍弘

## 燃料カードの価格表【2023年10月分】

### AMSカード ※共通利用可能

油種	ENEOS・Shell・COSMO
レギュラー	164.0円
ハイオク	174.0円
軽油	146.0円

【価格は税抜】

### ENEOSビジネスカード

油種	ENEOS
レギュラー	162.5円
ハイオク	172.5円
軽油	136.5円

【価格は税抜】

### 全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	COSMO	ENEOS	宇佐美
レギュラー	155.2～157.2円	157.0～159.0円	155.6～157.6円
ハイオク	165.2～167.2円	167.0～169.0円	165.6～167.6円
軽油	132.2～134.2円	136.5～138.5円	134.7～136.7円

【価格は税抜】

### 全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	ENEOS ウイング	FLEX & TRUST カード (Shell)	TRUST & FLEX カード (出光)	エネクスフリート
レギュラー	154.5～156.5円	157.1～159.1円	157.7～159.7円	152.9～154.9円
ハイオク	164.5～166.5円	167.1～169.1円	167.7～169.7円	162.9～164.9円
軽油	130.4～132.4円	136.6～138.6円	131.9～133.9円	131.9～133.9円

【価格は税抜】